



自民党・無所属 大阪府議団だより



令和2年度3月11日の都市住宅常任委員会において、
**池田市〈畑地区〉の土砂災害対策や
都市基盤施設の維持管理における
SNSを活用した通報システムの導入、
広域防災拠点強化のための無電柱化**
などについて質問しました。

Profile 池田市選出

昭和55年9月5日生まれ／大教大附属池田小学校／大教大附属池田中学校／
関西大倉高校／甲南大学法学部卒業／(株)NEXYZ勤務を経て、
衆議院議員 原田けんじ 秘書／平成31年4月より府議会議員(2期目)
現在 都市住宅常任委員会委員

池田市〈畑地区〉の土砂災害対策について

砂防堰堤の整備など対策の状況は？

Q. 原田議員 地元池田市の畑地区を流れる才の本川の下流には、広域避難地等があることから災害発生時の影響度が高く、250戸を超える人家を有するなど、ひとたび土石流災害が発生すれば多くの生命、財産を奪いかねない。砂防堰堤の整備など事前防災であるハード対策が非常に大切だ。畑地区で現在進めている対策の状況は。

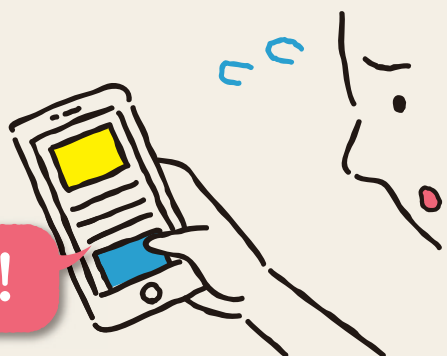
A. 河川環境課長 才の本川においては高さ13mの砂防堰堤を整備するもので、平成28年度から工事に着手し、現在、堰堤本体のコンクリートを高さ8mまで打設するとともに下流水路への取付護岸を施工中です。令和2年度の完成をめざし、鋭意工事の進捗に努めていきます。

都市基盤施設の維持管理におけるSNSを活用した通報システム

通報システムの積極的な導入を

Q. 原田議員 都市基盤施設の維持管理の通報におけるSNSを活用した通報システムの導入について、都市整備部長は検討を進めるとの答弁であった。府内の一部市町村では不具合箇所の早期発見を目的に通報システムを導入しており、施設の良い管理水準を保つために、府は積極的な導入をと考える。どのように進めていくのか。

A. 事業企画課長 SNS活用の通報システムについて、情報量の中から緊急性の高いものを仕分けする職員体制の強化やシステム改修などの必要性を見極め、通報システムに取り組んでいる和歌山県などへのヒアリングを実施し、効果を検証するとともに全庁的な取り組みとあわせて検討を進めてまいります。



広域防災拠点強化のための無電柱化

アクセス道路の完了目標は？

Q. 原田議員 無電柱化について都市整備部長より先日、北部広域防災拠点は南千里茨木停車場線の詳細設計に(今年度)着手し逐次無電柱化に取り組む、中部広域防災拠点は都市計画道路八尾富田林線が将来供用により無電柱化が図られるため、用地取得に向けた整備を推進との答弁があった。北部、中部広域防災拠点へのアクセス道路の完了目標はいつか。

A. 道路環境課長 府道南千里茨木停車場線の万博外周道路から防災拠点までの区間は、無電柱化を令和6年度末までに完了(目標)。都市計画道路八尾富田林線は事業認可期間が令和8年度末までで、用地買収や橋梁の整備など大規模な事業であるが着実に整備を進めていきます。

八尾富田林線の今後

Q. 原田議員 八尾富田林線は無電柱化も含め、期間内での整備完了は難しいと考えるが、重要なアクセス道路であるため早急に進める必要がある。今後の事業はどうか。

A. 道路整備課長 府道大阪羽曳野線から八尾空港までのルートの一部を八尾空港内を通過に変更した結果、約6万㎡の事業用地のうち民有地にかかる用地が約3.5万㎡となり用地取得に要する期間を短縮。今後、国と協議を進めるとともに、民有地も地元八尾市の協力を得ながら早期の用地取得に努めてまいります。

建設工事総合評価落札方式の評価項目

高齢化の進行が深刻…若手技術者育成の企業を評価すべき

Q. 原田議員 建設業界では高齢化の進行が深刻な問題であり、後進を育成したいが、なかなか育たないとの声がある。住宅まちづくり部が発注する総合評価落札方式の評価項目に、若手技術者を積極的に育成しようとしている企業を評価する項目を盛り込むべきだ。

A. 公共建築室計画課長 令和2年度より総合評価落札方式において、企業の施工能力の評価項目に「若手技術者の育成」の追加を検討しており、実現に向けて取り組めます。